

日米投信概況

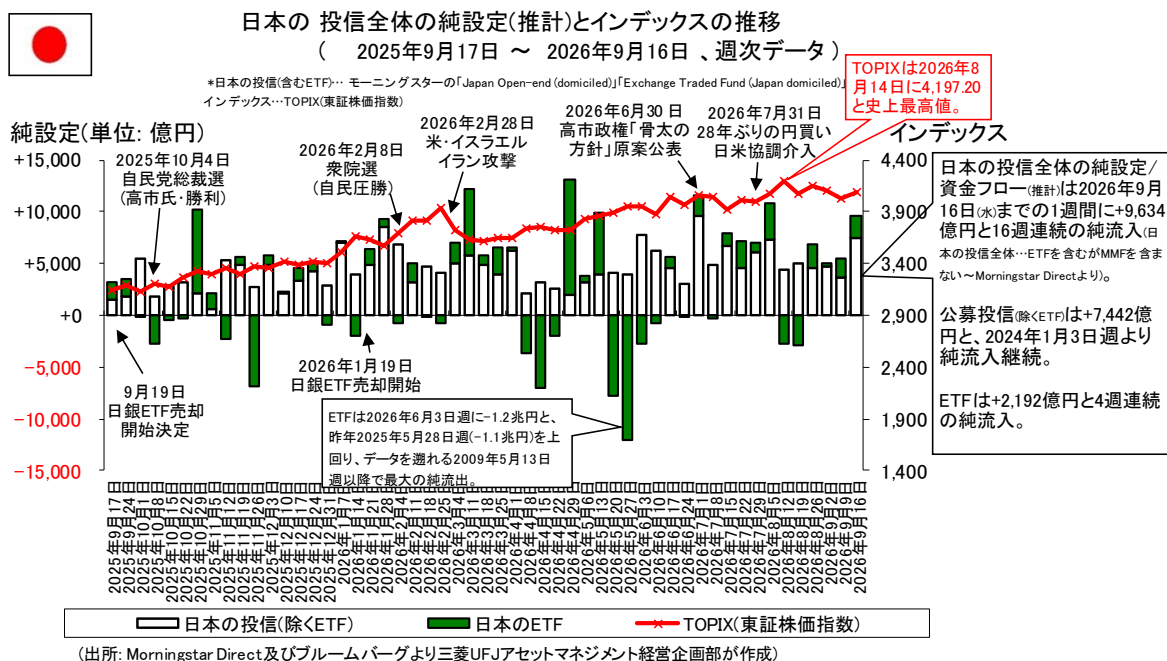
日米で金(ゴールド)ファンドが純流入となる中、日本ではグローバル・インフレ連動債ファンドが純流出、米国でインフレ連動債ファンドが33週連続の純流入！

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 経営企画部 松尾健治 (シニアリサーチアナリスト)
窪田真美 (シニアリサーチアナリスト)

- 日本は日本株や金(ゴールド)が純流入となる中、グローバル・インフレ連動債が純流出！……………p.1
- 米国では米国超短期債や金(ゴールド)が純流入の中、日本株が純流出、米国でインフレ連動債ファンドが33週連続の純流入……………p.4

●日本は日本株や金(ゴールド)が純流入となる中、グローバル・インフレ連動債が純流出！

日本籍投信全体の純設定/ファンド(マネー)フロー推計は2026年9月16日(水)までの1週間に+9,634億円と16週連続の純流入(日本籍投信全体…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Direct)。公募投信(除くETF)は+7,442億円と、2026年7月1日週(+9,638億円)以来12週ぶりの大きな純流入で、2024年1月3日週より純流入継続。ETFも+2,192億円と4週連続の純流入。



公募投信(除くETF)の2026年9月16日週の純設定額+7,442億円について分類別に見る。

純流入1～3位は、グローバル株、米国株、グローバル株-日本を除く。

純流出1～3位は、グローバル・インフレ/変動債、グローバル・特定テーマ/セクター株、インド株。



日本の投信の分類別週間純流入(純流入の大きい順)

2026-09-16現在

*ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント経営企画部)
1	World Equity	+309,629	+190,432	+832,557	36,111,411	グローバル株
2	US Equity	+157,990	+73,139	+327,555	37,138,644	米国株
3	World ex-Japan Equity	+62,194	+31,417	+212,960	19,991,868	グローバル株-日本を除く
4	Japan Large-Cap Growth Equity	+59,880	+484	+132,697	9,447,817	日本株大型グロース
5	Japan Large-Cap Blend Equity	+32,780	+493	+124,449	11,013,017	日本株大型ブレンド
6	Trading - Leveraged/Inverse	+19,929	-611	+34,607	871,876	トレーディング-レバレッジド/インバース
7	Moderately Aggressive Allocation	+18,591	+13,227	+70,213	7,099,832	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
8	US Bond	+17,603	+8,582	+26,079	754,361	米国債
9	Sector Equity Technology	+13,551	+5,270	+67,633	12,322,639	テクノロジー株
10	Japan Large-Cap Value Equity	+10,623	+8,611	+45,885	3,011,429	日本株大型バリュー
12	Commodity	+9,988	-6,592	+15,741	3,634,190	商品
17	Japan Bond - Long/Intermediate	+6,995	+31,224	+56,026	4,572,208	日本債-中長期
19	Japan Specialty Equity	+4,186	+4,652	+20,082	900,389	日本・特定テーマ/セクター株
22	Japan Small/Mid-Cap Value Equity	+3,007	-8,279	-297	2,005,267	日本株中小型バリュー
32	Japan Small/Mid-Cap Blend Equity	+426	-76	+2,585	513,774	日本株中小型ブレンド
40	Japan Bond - Short Term	+54	+184	+1,080	32,898	日本債-短期
52	Japan Other Bond	-139	-1,040	-1,793	71,134	日本その他債
76	World Equity - JPY Hedged	-1,964	-1,715	-5,600	537,190	グローバル株-円ヘッジ
77	Global Emerging Markets Bond - JPY Hedged	-2,096	-20	-1,992	37,288	グローバル・エマージング債-円ヘッジ
78	Japan Bond - Bond IT	-2,212	-2,059	+3,860	451,319	日本債-公社債
79	US High Yield Bond - JPY Hedged	-2,863	-54	-3,412	64,517	米国・ハイイールド債-円ヘッジ
80	Other Allocation	-2,984	+10,163	+948	756,794	その他アロケーション
81	Japan Small/Mid-Cap Growth Equity	-3,171	-282	-6,204	1,074,457	日本株中小型株グロース
82	World Bond - JPY Hedged	-3,429	+311	-4,275	1,710,446	グローバル債-円ヘッジ
83	India Equity	-3,730	-8,576	-30,896	2,163,670	インド株
84	World Specialty Equity	-4,600	-4,727	-21,161	5,834,904	グローバル・特定テーマ/セクター株
85	World Bond Inflation / Floating	-6,205	+59	-5,982	10,917	グローバル・インフレ/変動債
全85分類の合計		+744,157	+358,332	+2,034,344	204,302,930	
指数名		リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX (東証株価指数)		+0.37	-0.86	+1.26		
S&P500		-1.07	-0.37	-1.92		
MSCI ワールド		-1.22	-0.08	-1.88		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドルベース、配当込み指数)

日本株は2026年9月16日週に+1,077億円と4週連続純流入 (←2026年9月9日週+56億円←2026年9月2日週+976億円←2026年8月

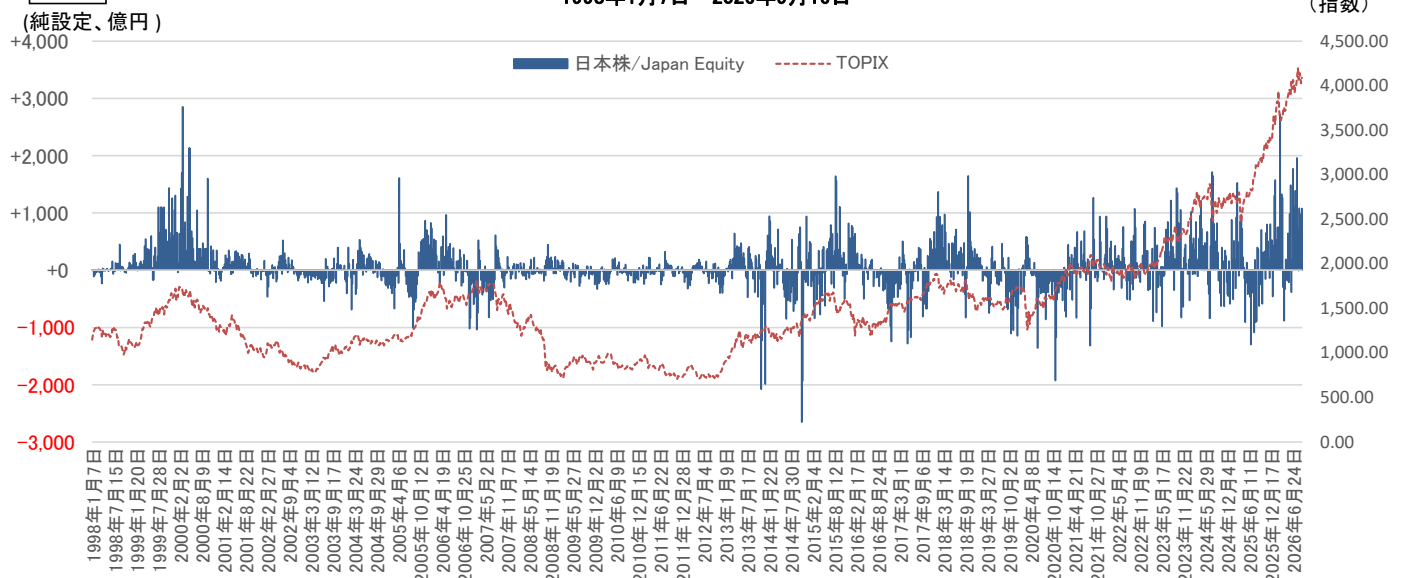
26日週+1,082億円←8月19日週-8億円と2026年6月17日週以来9週ぶりの純流入←8月12日週+712億円(世界の日本株投資については、2026年8月3日付投信調査レポートNo.461「日本

株を買う外国人投資家～世界のファンド投資家の日本株投資動向:米欧のグローバルETFや米国の日本株ETFが買い、日本の日本株ETFが売る～」～ https://www.am.mufg.jp/report/foreign/investor/report_202608.pdf)o



日本の日本株ファンド(除くETF)の週次純設定(推計)の推移

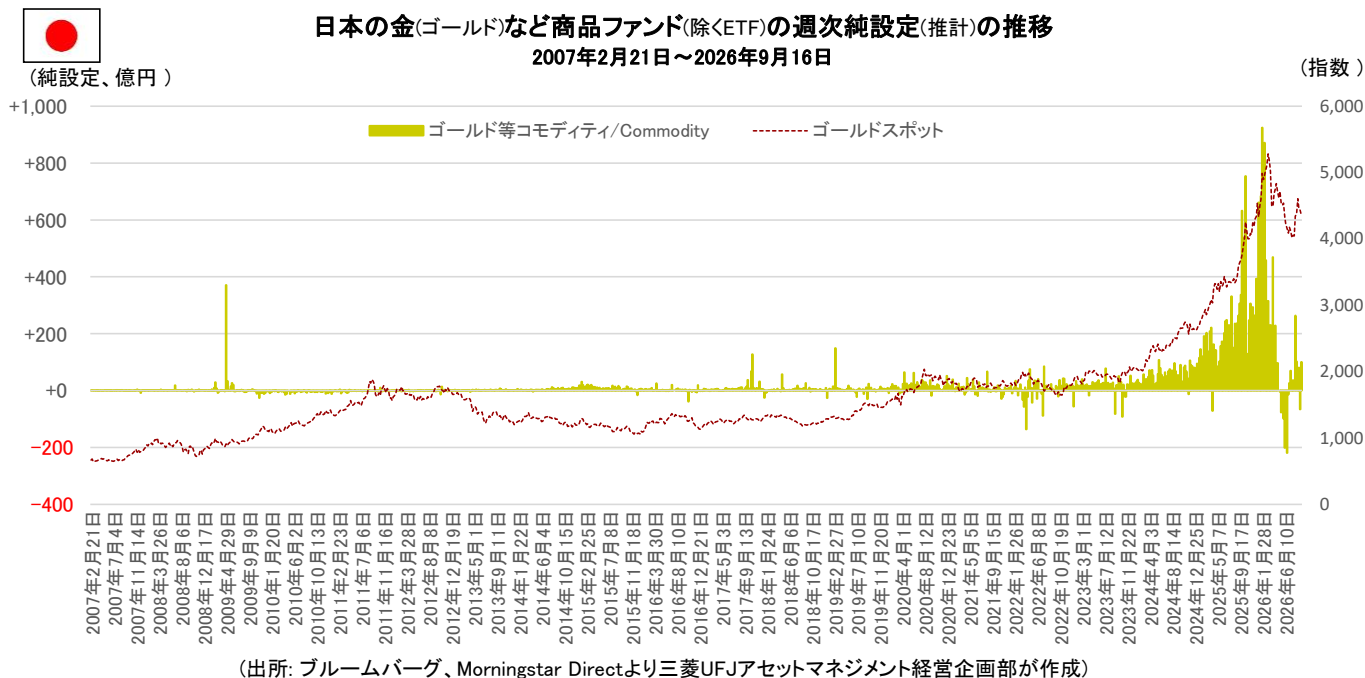
1998年1月7日～2026年9月16日



(出所: ブルームバーグ、Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

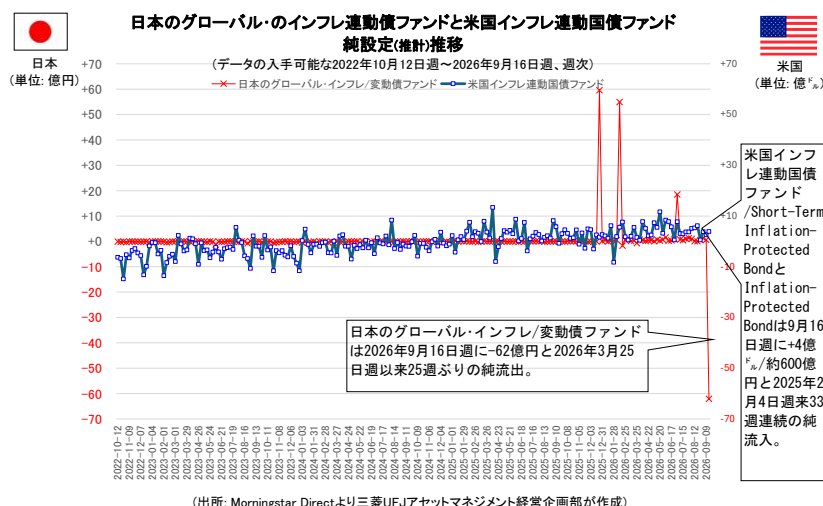
金(ゴールド)など商品は2026年9月16日週に+100億円と、7月8日週以降、9月9日週(-66億円)を除いて純流入が続いている。2026年5月中旬から6月にかけての純流出から反転し、2026年8月12日週には+263億円と、2026年4月1日週以来の大きな純流入となるなど、再び流入基調となっている(世界の金投資については、2026年8月24日付投信調査レポートNo.462「日本と米国で金(ゴールド)ファンド

の買い手が戻ってきている!~世界のゴールド/金関連ファンド(ETFを含む)流出動向~」~ https://www.um-mof.jp/report/investigate/report_260524.pdf)o



2026年9月16日週に全分類中最大の純流出となったグローバル・インフレ/変動債は、2026年3月25日週以来25週ぶりの純流出である。ラップ口座専用の米国物価連動国債ファンドに-62億円という、純資産の約半分に相当する規模の純流出があった(物価連動国債...2026年9月10日付投信調査コラムNo.450「世界の国債ファンド(含む物価連動国債/TIPS&インフレ連動債/IPSファンド)~日本の国債NISA法案&個人向け国債をNISAの対象にする税制改正要望、英国のトラスショックと米国のバセットツイストと日本の骨太ショック~」~ https://www.um-mof.jp/report/investigate/column_260910.pdf)。後述する米国欄で米国インフレ連動国債ファン

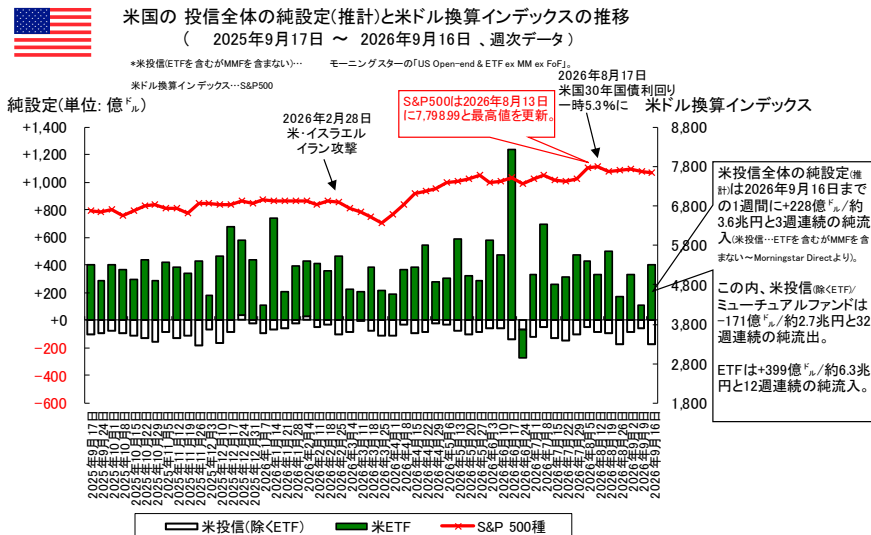
ド/Short-Term Inflation-Protected BondとInflation-Protected Bondは9月16日週に+4億^{ドル}/約600億円と2025年2月4日週以来33週連続の純流入となっている。日本のグローバル・インフレ/変動債は純資産の86%が米国TIPSで残り14%もグローバルであり米国が多いのにまるで推移が違う。これは日本のグローバル・インフレ/変動債が4本(ヘッジありとヘッジなしを1本とすれば2本)しかなく(純資産174億円)、ファンド固有の設定・解約事情に大きく左右されると言う事であろう。米国インフレ連動国債ファンドは217本、純資産56億^{ドル}/約0.9兆円である。



●米国では米国超短期債や金(ゴールド)が純流入の中、日本株が純流出、 米国でインフレ連動債ファンドが33週連続の純流入

米国籍投信の週次純設定/ファンド(マネー)フロー推計は2026年9月16日までの1週間に+228億ドル/約3.6兆円と3週連続の純流入(米投信…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。この内、米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-171億ドル/約2.7兆円と32週連続の純流出。一方、ETFは+399億ドル/約6.3兆円と12週連続の純流入(継続的なミューチュアル

ファンドの純流出とETFの純流入にはミューチュアルファンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…2023年11月27日付日本版ISAの道 39「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増！」～ https://www.am.mfi.jp/report/investigate/colomn_231127.pdf)o



(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

*米Morningstarが発表する週次の純設定額(推計)は、算出時点で入手できる投信による推計であり、随時更新される(本レポートは作成時点の最新値を使用)。

2026年9月16日週の投信全体(含むETF、除くMMF)純設定額を分類別に見る。

純流入1～3位は米国中型ブレンド株、米国大型グロース株、**米国超短期債**。

純流出1～3位は、**米国大型ブレンド株**(S&P500連動など)、**米国ハイイールド債**(ジャンク債)、**社債**。

米投信の分類別週間純流入(純流入の大きい順) 2026-09-16現在

*ETFを含むがMMFを含まない。週次推計のため、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント経営企画部)
1	Mid-Cap Blend	+4,766	+236	+7,580	525,606	米国中型ブレンド株
2	Large Growth	+4,615	-8,066	-10,135	2,318,348	米国大型グロース株
3	Ultrashort Bond	+3,735	+4,621	+15,280	550,205	米国超短期債
4	Small Blend	+3,503	-524	+2,379	565,249	米国小型ブレンド株
5	Large Value	+2,421	+2,451	+6,448	1,757,317	米国大型バリュー株
6	Long Government	+1,957	+186	+2,445	142,481	米国長期国債(6年超)
7	Derivative Income	+1,708	+781	+5,934	208,445	デリバティブ・インカム
8	Foreign Large Blend	+1,416	+2,093	+6,818	1,659,526	外国大型ブレンド株
9	Financial	+1,396	+745	-611	103,182	金融株
10	Commodities Focused	+1,267	-216	+6,814	318,127	商品・フォーカス
32	Short-Term Inflation-Protected Bond	+234	+272	+1,212	66,382	米国短期インフレ連動債
36	Inflation-Protected Bond	+154	-19	-131	58,793	米国インフレ連動債
40	Short Government	+122	+363	+9,230	96,842	米国短期国債
84	Intermediate Government	-25	-23	-4,725	147,096	米国中長期国債(4-6年)
94	India Equity	-72	-2	-50	13,476	インド株
102	Japan Stock	-160	+197	+385	59,775	日本株
112	Defined Outcome	-400	+1,213	+1,444	76,891	ディファインド・アウトカム
113	Small Growth	-428	-215	-1,008	194,414	米国小型グロース株
114	Digital Assets	-473	+1,216	+5,217	121,872	デジタル資産(ビットコイン等)
115	Focused Region	-524	+3	-825	101,440	地域・フォーカス
116	Muni National Long	-565	-39	-408	82,024	米国長期全米地方債
117	High Yield Muni	-672	-302	-353	127,904	米国ハイイールド地方債
118	Short-Term Bond	-1,315	+1,524	+1,393	385,478	米国短期債
119	Corporate Bond	-1,979	-2,233	-4,979	203,793	社債
120	High Yield Bond	-2,507	-449	-3,821	301,586	米国ハイイールド債
121	Large Blend	-4,608	-8,844	-27,282	6,106,081	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
	全121分類の合計	+22,797	+4,969	+52,775	24,896,981	
	指数名	リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
	TOPIX (東証株価指数)	+0.37	-0.86	+1.26		
	S&P500	-1.07	-0.37	-1.92		
	MSCI ワールド	-1.22	-0.08	-1.88		

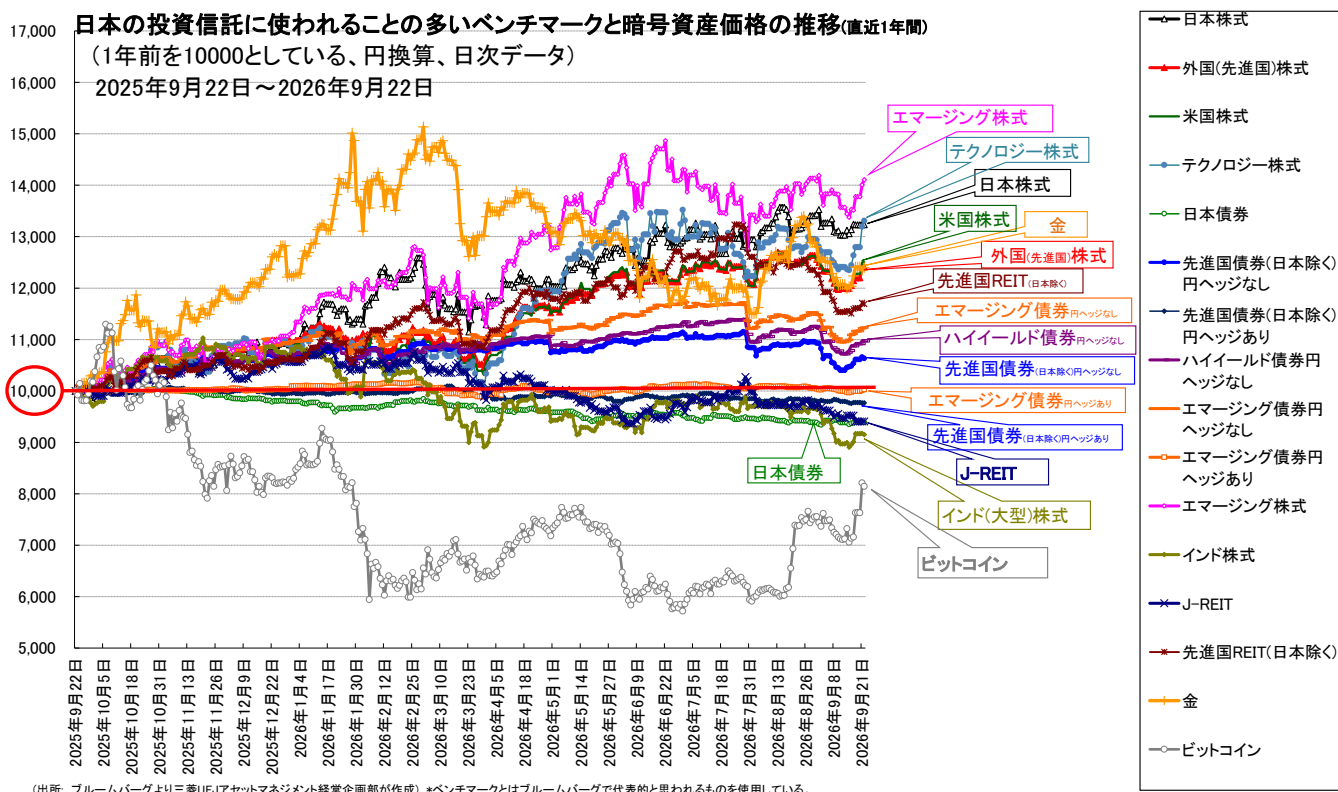
(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドルベース、配当込み指数)。

日本株は2026年9月16日週に-1.6億^{ドル}/約250億円と8週ぶりの純流出(←9月9日週+2.0億^{ドル}←9月2日週+2.8億^{ドル}←8月26日週+0.7億^{ドル}←8月19日週+1.7億^{ドル}←2026年8月12日週+3.7億^{ドル}←8月5日週+0.4億^{ドル}←7月29日週+3.9億^{ドル}←2026年6月17日週以来の大きな純流入)。米
国株は2026年9月16日週に+112億^{ドル}/約1.7兆円と2週ぶり純流入(←9月9日週-144億^{ドル}←9月2日週+16億^{ドル}←8月26日週-224億^{ドル}←8月19日週+232億^{ドル}と2か月ぶりの大きな純流入←2026年8月12日週+3.3億^{ドル})。日本でも純流入が続く**商品/Commodityは米国でも純流入**。金ETF等の「商品・フォーカス/Commodities Focused」は2026年9月16日週に+13億^{ドル}/約2,000億円と2週ぶりの純流入。2026年4月中旬から7月にかけての純流出から反転、2026年8月26日週+34億^{ドル}/約5,471億円と2026年2月25日週(+47億^{ドル})以来の大きな純流入。
インド株は2週連続の純流出。

米国超短期債/Ultrashort Bondは2026年9月16日週に+37億^{ドル}/約5,800億円と21週連続純流入(ETFが牽引)。米短期
 国債/Short Governmentが+1億^{ドル}/約191億円と13週連続純流入(9月2日週に+64億^{ドル}/約1兆円と週次データの入手可能な2022年10月
 12日週来最も大きな純流入)。一方、米中長期国債(4-6年)/Intermediate Governmentは-2,500万^{ドル}/約40億円と4週連続の純
 流出(9月2日週に-45億^{ドル}/約0.7兆円と週次データの入手可能な2022年10月12日週来最も大きな純流出)。米長期国債(6年超)/Long
 Governmentは+20億^{ドル}/約0.3兆円と6週連続の純流入(ETFが牽引)。そして、**米国インフレ連動国債ファンド/Short-Term
 Inflation-Protected BondとInflation-Protected Bondは9月16日週に+4億^{ドル}/約600億円と2025年2月4日週来33週連続の純
 流入となっている。**

インフレ連動債ファンドについては前述日本欄を参照の事。また米国情債ファンドについては2026年9月24日付
 投信調査コラムNo.451「日米国債ファンドの積立投資～世界で米国情債ETFが人気、日本で個人向け国債が人
 気！(新窓販国債は?)」かつて人気だった中期国債ファンドなど公社債投信や長期国債ファンドなど単位型投信は今
 ～」(<https://www.am-mufg.jp/report/investigate/>)を参照の事。



以 上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 経営企画部シニアリサーチアナリスト

松尾 健治(kenji-matsuo@am.mufg.jp)、

窪田 真美(mamil-kubota@am.mufg.jp)。

本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

本資料中で使用している指数について

TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

MSCI ワールド インデックス、MSCI ジャパンに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会